

今後の予定

★ 第41回オープンソースサロン

オープンソースサロンでは、国外からも多くの研究者・開発者をお招きしてお話いただいておりますが、7月は17日(金)にオランダの国連大学マーストリヒト技術革新経済研究所(UNU-MERIT)から研究員のRuediger Glott氏とKirsten Haaland氏をお招きします。

UNU-MERITにはオープンソースを社会経済的に分析する部門があり、多くの若い研究者が集まっています。お二人には欧州のオープンソース事情や、オープンソース開発コミュニティの状況についてお話していただく予定です。

また、地元からの発表では、Ruby製オープンソースCMS「Radiant CMS」の紹介書籍『入門Radiant CMS』を執筆された前田 剛さん(ファーエンドテクノロジー株式会社)の出版記念講演です。(野田)

第41回オープンソースサロン/島根大学プロジェクト研究会

日時：2009年7月17日(金) 18時30分～20時30分

会場：松江オープンソースラボ(松江テルサ別館2階)

プログラム：

話題提供1 Ruby製オープンソースCMS「Radiant CMS」の紹介と書籍「入門Radiant CMS」ができるまで
前田 剛(ファーエンドテクノロジー株式会社)

話題提供2 UNU-MERIT(国連大学 マーストリヒト技術革新経済研究所)
Ruediger Glott (Senior researcher)
Kirsten Haaland (Researcher)

★ しまねOSS協議会 年次総会

来たる2009年7月31日(金)に松江オープンソースラボにて、しまねOSS協議会の年次総会を開催致します。2006年7月31日に設立同意、同年9月3日に正式に設立された当協議会もいよいよ第4期に入ります。会員、関係者をはじめ、ご協力をいただいている皆様に改めて御礼申し上げます。

7月31日は、実は松江オープンソースラボの誕生日(開設記念日)でもあります。この記念すべき日に総会を開催できることを協議会としてもとても嬉しく思っております。総会終了後は、今注目のRailsサイトのエンジニアの方からの総会記念講演も予定しております。当日多くの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

しまねOSS協議会 年次総会

日時：2009年7月31日(金) 16時30分～17時30分

場所：松江オープンソースラボ(松江テルサ別館2階)

第42回オープンソースサロン

日時：2009年7月31日(金) 18時30分～20時30分

会場：松江オープンソースラボ(松江テルサ別館2階)

プログラム：

詳細が決まりましたらHPにアップ致します。乞うご期待！

編者後記

このニュースレターも初めての発行からそろそろ一年が経過しようとしています。このニュースレターは、なかなか新しい企画を打ち出せないでいますが、しまねOSS協議会の活動はどんどん活発になっていきますので、興味ある方は是非オープンソースサロンに参加してみてください。

次回の第五号は10月頃の発行を予定しています。(木村)

<http://www.shimane-oss.org/>

このニュースレターはOpenOffice.orgで作成されています。

OS4 ニュースレター

第四号 (2009.07.10)



活動状況

★ オープンソースサロンについて

毎月1回くらいのペースでオープンソースサロンが開催されました。その中からいくつかご紹介いたします。

・第34回オープンソースサロン(2008年11月21日(金))

島根大学産学連携センターの丹生晃隆氏による「オレゴンから愛 08 秋 GOSCON報告」と題した発表と、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構 准教授の嶋津恵子氏による「オープンソースとシステムエンジニアリング」と題した発表が行われました。

嶋津氏の発表の後、参加者との間で活発な議論が行われました。島根県内でオープンソースがシステム開発に使われることが増えて来ていることを実感しました。

・第37回オープンソースサロン(2009年2月13日(金))

第37回は豪華3本立てでした。

まず最初に株式会社ネットワーク応用通信研究所の原悠氏による「Rubyで作る奇妙なプログラミング言語 ~EsotericLanguage~」、続いて広島修道大学 経済科学部の協谷直子氏による「地方公共団体におけるオープンソースの活用」、そして最後にオレゴン州立大学オープンソースラボ(OSUOSL)のDeborah Bryant氏によるオレゴン州立大学オープンソースラボの取り組みに関する発表でした。

OSUOSLはオープンソースラボの元祖です。様々なオープンソースソフトウェアを配布するサーバを管理している話やGOSCONの開催など大学の取り組みについて話をされました。まとめの中で「public benefit」を求めてという表現があり、これはしまねOSS協議会の活動にもあてはまるかなと思いました。

・第40回オープンソースサロン(2009年6月12日(金))

しまねOSS協議会サポーター会員のきむらしのぶ氏による「OpenOffice.orgで作るOS4ニュースレター」と、ワイカト工科大学(ニュージーランド)のJohn Clayton氏による「職場におけるeラーニング：恩恵と障害 -ニュージーランドの経験から-」と題した発表でした。

きむら氏は今お読みいただいているOS4ニュースレターの編集をされています。

きむら氏の発表は、このOS4ニュースレターの製作過程を題材にOpenOffice.org Draw というソフトの使い方を紹介するものでした。Drawというソフトの存在は知っていましたが、知らない機能や使ったことが無い機能の説明があり、大変勉強になりました。OSSを活用するテーマの発表は楽しいですね。

この他にも面白いテーマや興味深いテーマの発表が行われました。今後もオープンソースサロンは毎月1回くらいのペースで(たぶん)開催します。今後のテーマにもご期待ください。開催日程はしまねOSS協議会ウェブサイト(<http://www.shimane-oss.org/>)に随時掲載します。ウェブサイトで日程をご確認の上、お気軽にお越しください。お待ちしております。(黒谷)

県内のオープンソースに関する動向

★ OSC 2009 Shimane (2009年5月16日(土))

前回のOSCから1年も間をあげず、5月にOSCが開催されました。

今回は日本三大船神事「ホーランエンヤ」と日程が重なり、また二年目のジंकスも囁かれる中、本当に人が集まってくれるのだろうかかと心配しながら準備を進めてきましたが、実際には想定を上回る来場者数となり、OSCへの関心の高さを改めて感じた一日でした。

今回は準備委員長という立場でOSCの開催に関わらせていただきましたが、OSCは僕や他のスタッフなど関係者の力だけではなく、OSSに関心を持つ全ての参加者や来場者全員が作り上げていくイベントなのだ痛感しています。来年も開催できるよう、島根でOSSをもっと盛り上げていきましょう！（木村）



私は、今回の「OSC 2009 Shimane」のポスターデザインをさせて頂きました。以前島根で開催された時のポスターを参考にさせて頂きましたが、地元の方も呼び込めるようなインパクトのあるモノを作りたいだったので、今回このデザインになりました。私は現在デザイン学校でデザインを学んでいる身ですが、OSCポスターデザインを手がける過程、全てが勉強になりました。オープンソースって？OSCって？初めて聞く言葉、知らないことが沢山あり、当初はイメージが定まらなくて苦労し、悩みました。色々調べていくうちにどんどんイメージが湧き、調べながらイメージを膨らませていく、知らないことが分かった！などポスター制作を通してとてもいい経験になったと思います。（細木）

私は今年も「OSC Shimane」にスタッフとして参加しました。昨年はOSC全国大会のような大仕掛けで2日間にわたって開催。一方、今年のOSCは、いまの島根のOSSコミュニティによる地に足の着いたカンファレンス。

出演者、来場者、そしてスタッフのみんなが一体となって空間を創り出し、OSSの素晴らしさはもちろん、そこに参加することが楽しいと感じられるカンファレンスでした。

これからもOSC島根の開催を続ける自信が、確信に変わったような気がします。

また、ライトニングトークに参加してくれた長岡さんはじめ、若い方が目立っていたのも嬉しいですね。なにより、昨年に引き続いて、全国から駆けつけてくださった皆さんに感謝です！

12年後は「ホーランエンヤ」とぶつけないからね！たぶん・・・（杉原）



OSCに初めて参加させていただきました。OSCに関わる以前は、こんなすごい世界が松江に存在しているなんて、まったく知りませんでした。特に秋田県大館市のIP電話導入事例の紹介は、市役所で実際に利用されているということ自体に強い説得力があり、今後のOSSの広がりを実感できました。また、抽選会で、松江商業高校がサーバをいただきました。事務局の皆さん、福岡県の尾崎さん、ありがとうございました。（沼田）

今回もスタッフとして、OSCに参加させて頂きました。私はIT系の会社に勤務しておりますが、技術職ではなく、こういったイベントにスタッフとして参加できることは、OSSの「今」を肌で感じられる非常に良い機会だと思います。

3月末頃、会社の先輩に「5月にOSCがあるから、また受付手伝ってもらっていい？」と言われ、迷わず「はい」と返事をしましたが、「基本的に受付お願いね、だけちょっとややこしいことがあるらしいから、それは現場で当日担当の方が直接話されるからよく聞いて」とのこと。

OSCが近づくにつれ「あ、結構重要なことをお願いするかもしれないから」と、何気なくプレッシャーをかけてこられたりして（「V」；様子がおかしかったので内容を聞いてみると「大丈夫。そんな大変じゃないから☆」と教えてくれません。

そして、イベント当日の午後。

とにかくライトニングトークの時刻をお知らせする役目だと担当の方からご説明があり、先輩からチャイナドレスと靴！「はい、これに着替えてね」...時間がきたらドラを叩く。これを「ドラ娘」と言うのだそうです。

イベントの最後で、すごく盛り上がり過ぎて良い経験になりました！

先輩は次の方を探しています☆あなたもドラ娘デビューしてみませんか？（ドラ娘）

「OSC 2009 Shimane」。それは、熱く！暑く！厚いイベントでした！

初めてOSCに参加しましたが、私が一番印象に残ったのはやはり(?)懇親会です。イベント自体も、大盛況のうちに幕が降り、その熱が冷めやらないうちに始まった懇親会は、イベント自体の盛り上がりそのまま引き継いだかのような盛り上がりっぷり！

想定定の定員をはるかに上回り、会場となった「カプリチオーザ」は身動きもできないくらいの超満員でした。ビールやワインが頭上を飛び交い、ピザやパスタの争奪戦が過熱するなかで、全国からOSCに集まった方々が、盛んに情報交換を行い、名刺を交換し、チョップを応酬し合い(?)ながら交流を深めあっていました。私個人的には、まさに「裸の付き合い」ができた素晴らしいイベントでした！

来年は(?)もっと筋トレしてくるぞ！

いくぞお！！ハッスル！ハッスル！（福田）

★ Ruby合宿 2009

昨年同様、IT企業に関心を持つ学生に対して、Ruby習得の講座を開催し、Rubyの技術習得を図るとともに、学生に対して県内ソフト系IT企業の情報を提供し、県内への就職機会を広げることを目的として、学生または25歳未満の方を対象にRuby合宿が開催されます。

第1回 8月8日(土)～8月12日(水) / 第2回 8月29日(土)～9月2日(水)

